

学校の教育目標

高い志をもって
生きぬく力を身につけた生徒の育成

学習における「生きぬく力」の捉え

- ・主体的に話し合いに参加し、仲間とのつながりの中で学ぶ力
 - ・既習事項を活用し、思考・判断・表現を繰り返し、鍛え、試行錯誤し、間違いからも学ぶ力
- これらの力を育てることで、自己有用感を高め、仲間と共同して学ぶことが学習における「生きぬく力」であると考えます。

めざす生徒像

- 主体的に学習活動に取り組み、わかるまで粘り強く学び続ける生徒
- 「わかった」「できた」という満足感や達成感を抱く生徒
- 授業に興味をもち、学習内容に価値を見出して、次の課題に意欲的に取り組む生徒
- 既習内容を活用し、進んで自らの考えを発表する生徒

生徒の実態

- ハンドサインを活用しながら、自分の考えと比べて仲間の意見を聞き、聞いた意見とつなげて発言できる生徒が増えた。
 - 「知りたい」「やってみたい」という興味や意欲が高まると、積極的に活動や作業に取り組み、最後まで粘り強く授業に臨むことができる。
- △基礎的・基本的な知識・技能の定着に弱さが見られる。
△自分の意見や主張を表現できない生徒も半数以上いる。

研究主題 自分なりの思いや考えをもち、豊かに表現できる生徒の育成

～言語活動の充実を通して～

研究仮説

単元・単位時間ごとに基礎的・基本的な知識・技能等、付けたい力を明確にし、学習効果が望まれる言語活動を意図的に学習過程に位置付けて指導をすれば、自分の考えを表現できるようになり、より確かな学力を身に付けた生徒になる。

研究内容

単元指導計画の工夫

- ① 生徒に付けたい基礎的・基本的な知識・技能を明確にし、それらの学びを系統立てて位置付けた単元構想図の作成
- ② 言語活動の効果的活用を意図した単元指導計画の工夫

一単位時間内の指導方法の工夫

- ① 生徒の学びたいという意欲を喚起し、課題に向かうための導入の工夫
- ② 基礎的・基本的な知識・技能を明確に示し、その習得を見届ける評価の工夫
- ③ 習得した知識・技能を活用するための言語活動の工夫